

矢板市民アンケート調査結果報告書



矢 板 市

1. 調査概要

(1) 調査目的

(仮称)第2次21世紀矢板市総合計画(平成23年度～32年度)の策定にあたり、市政の様々な施策に対する満足度や重要度について市民から意見を聞き、策定作業の基礎資料として活用することを目的としています。

(2) 調査期間

平成21年8月26日～9月18日

(3) 調査対象者

矢板市内に在住する18歳以上の方から3,000人を、性別、年齢別及び地区別のバランスに配慮したうえで、無作為に抽出いたしました。
なお、男女比は各50%としました。

(4) 調査方法

郵送配布、郵送回収

(5) 回答数と回収率

(平成21年10月1日現在)

配布数 3,000 票
回収数 1,392 票
有効回答数 1,392 票 (回収率 46.4%)

内訳

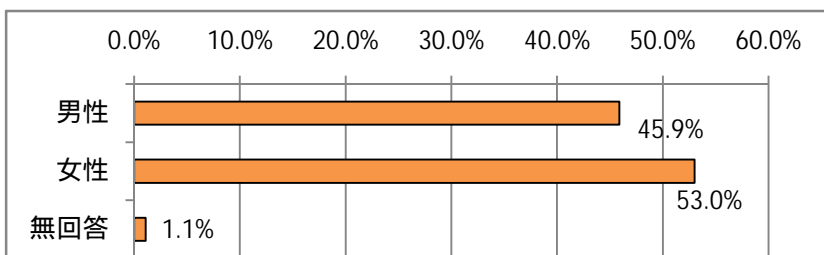
| 性別 | 配布数 | 有効回答数 | 回収率 |
|------------|-------|-------|--------|
| 男 | 1,500 | 639 | 42.6 % |
| 女 | 1,500 | 738 | 49.2 % |
| 不明 | | 15 | |
| 合計 | 3,000 | 1,392 | 46.4 % |
| 年齢別 | 配布数 | 有効回答数 | 回収率 |
| 18歳以上29歳まで | 480 | 152 | 31.7 % |
| 30歳代 | 480 | 176 | 36.7 % |
| 40歳代 | 430 | 190 | 44.2 % |
| 50歳代 | 560 | 266 | 47.5 % |
| 60歳代 | 480 | 276 | 57.5 % |
| 70歳以上 | 570 | 315 | 55.3 % |
| 不明 | 0 | 17 | |
| 合計 | 3,000 | 1,392 | 46.4 % |

今回アンケート表示は、前回アンケート(平成17年度)と比較のためパーセント表示になっているので、その回答数を知るには表示のパーセントに平成17年度は1800を平成21年度は1392を掛けたものが回答数となる。

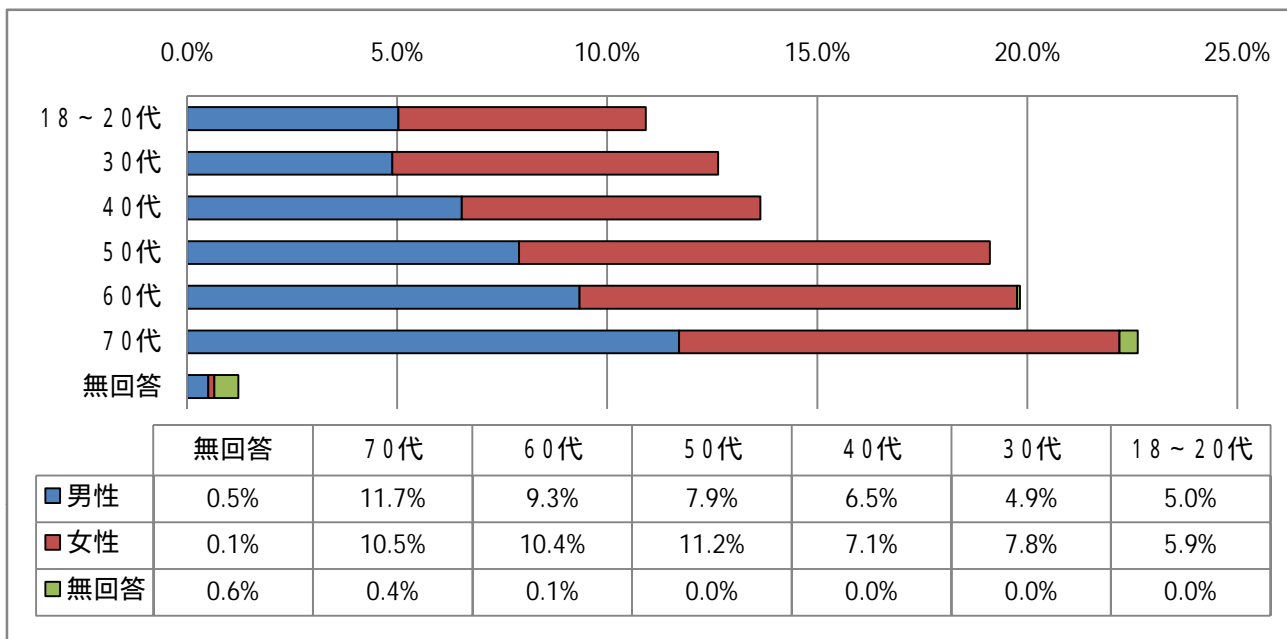
調査結果

【問 1】 あなたの性別はどちらですか

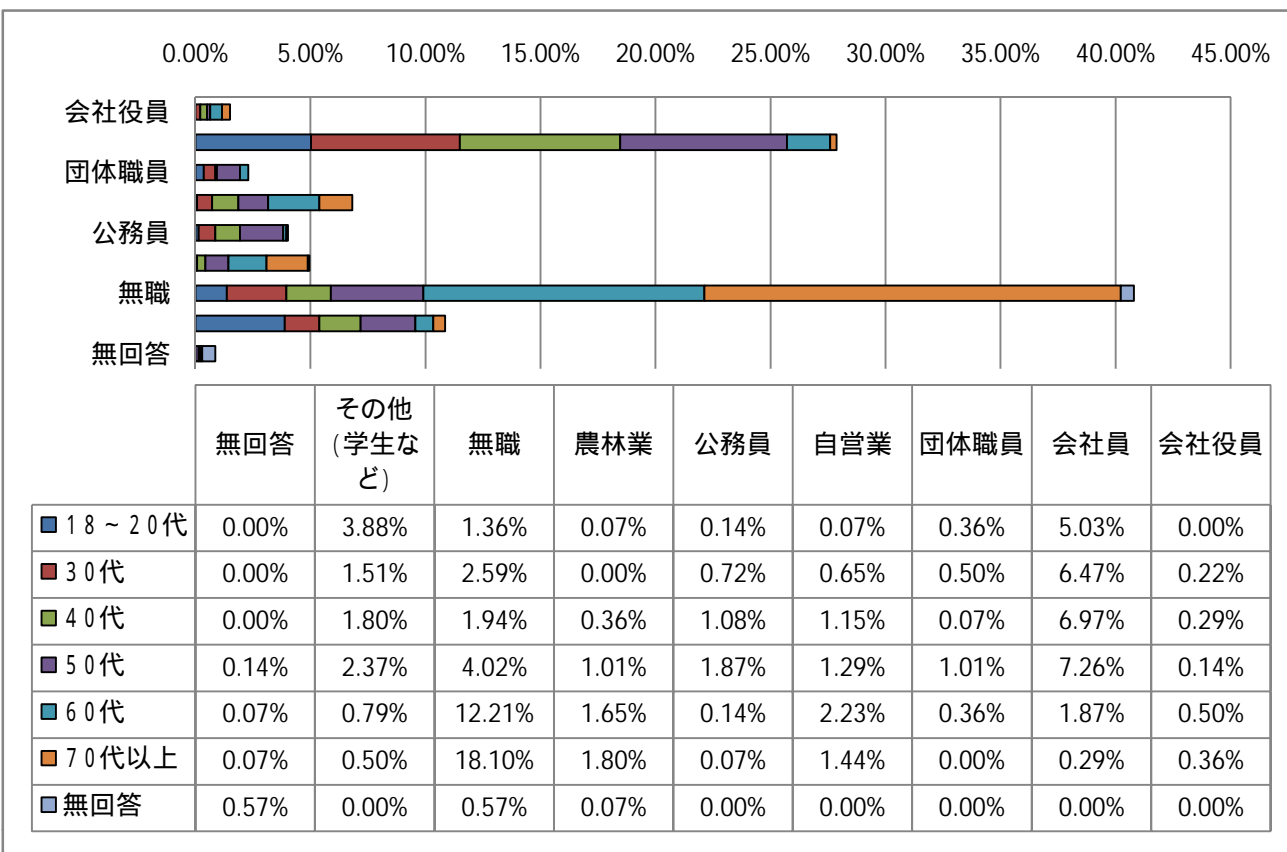
| | 回答数 | 構成比 |
|-----|-------|--------|
| 男性 | 639 | 45.9% |
| 女性 | 738 | 53.0% |
| 無回答 | 15 | 1.1% |
| 計 | 1,392 | 100.0% |



【問 2】 あなたの年齢は満何歳ですか。（8月1日現在で）



【問 3】 あなたのご職業は何ですか。

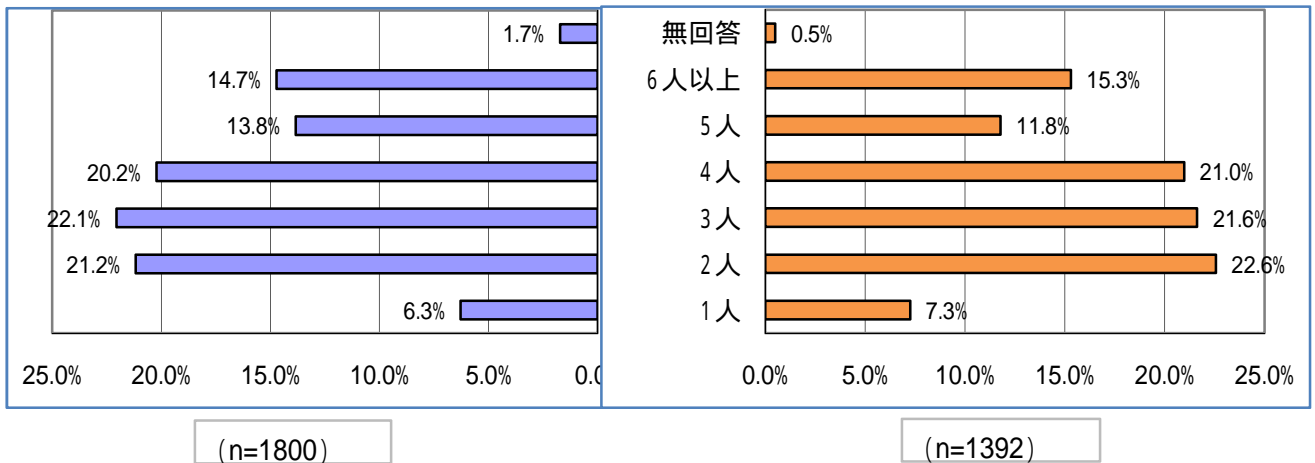


一番は、「無職」で、全体の40.8%となっている。次が「会社員」で27.9%となっている。なお、70代以上の回答数が一番多くなっている。

【問 4】 一緒に住んでいるご家族は何人ですか。あなたを含めてお答えください。

(平成17年度アンケート)

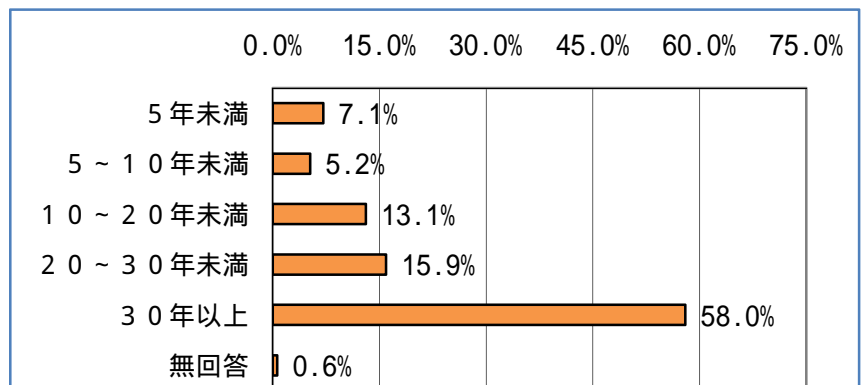
(平成21年度アンケート)



一番は「2人」で22.6%、次が「3人」で21.6%となっている。
 なお、平成17年度は、一番は「3人」で22.1%、次が「2人」で21.2%となっている。

【問 5】 あなたは、矢板市に住んで何年になりますか。
 (転入された方で以前に矢板市に住んでいらっしゃった方は通算でお答えください。)

| | 回答数 | 構成比 |
|----------|-------|--------|
| 5年未満 | 99 | 7.1% |
| 5～10年未満 | 73 | 5.2% |
| 10～20年未満 | 182 | 13.1% |
| 20～30年未満 | 222 | 15.9% |
| 30年以上 | 807 | 58.0% |
| 無回答 | 9 | 0.6% |
| 計 | 1,392 | 100.0% |

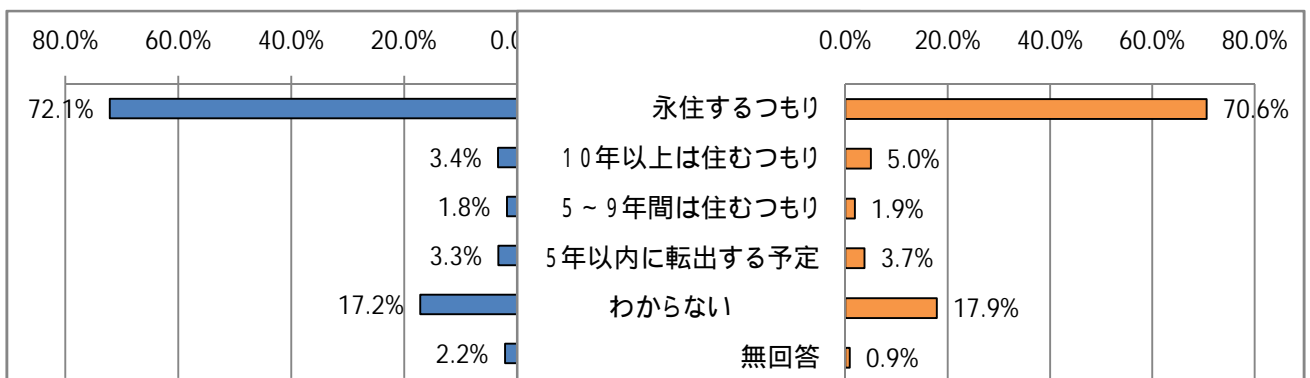


一番は「30年以上」で58%、次が「20～30年未満」で16%となっている。

【問 6】 あなたは、これからも矢板市に住みたいと思いますか。

(平成17年度アンケート)

(平成21年度アンケート)

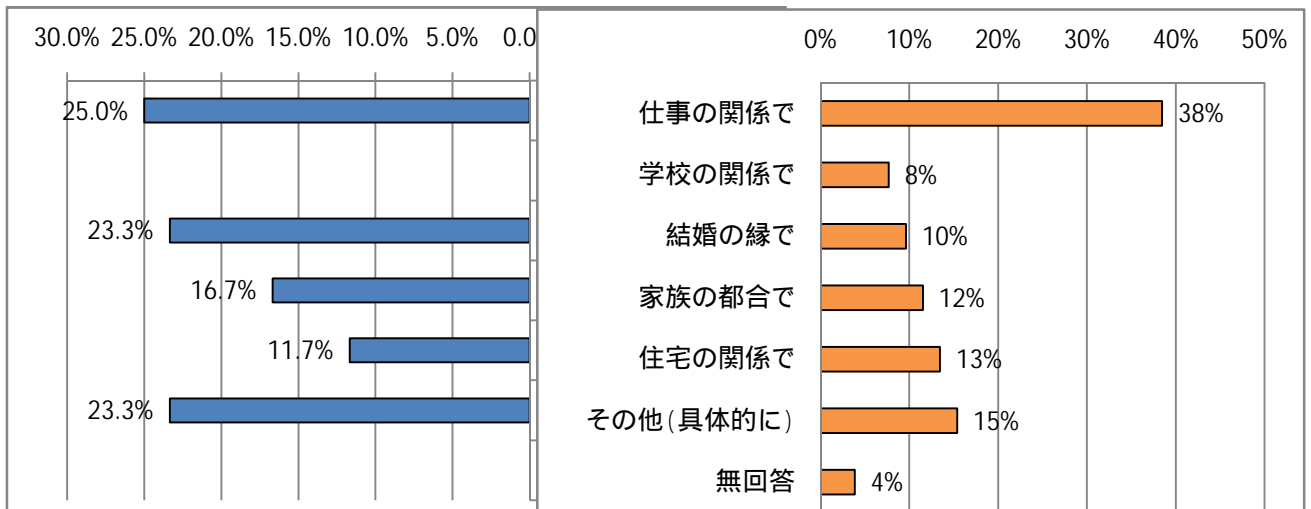


一番は「永住するつもり」が全体の70.6%で、次が「わからない」で17.9%となっている。
 なお、平成17年度は「永住するつもり」は72.1%となっている。

【問 7】 前の問7で4「5年以内に転出する予定」とお答えの方におたずねします。
転出する予定の主な理由を選んでください。

(平成17年度アンケート)

(平成21年度アンケート)

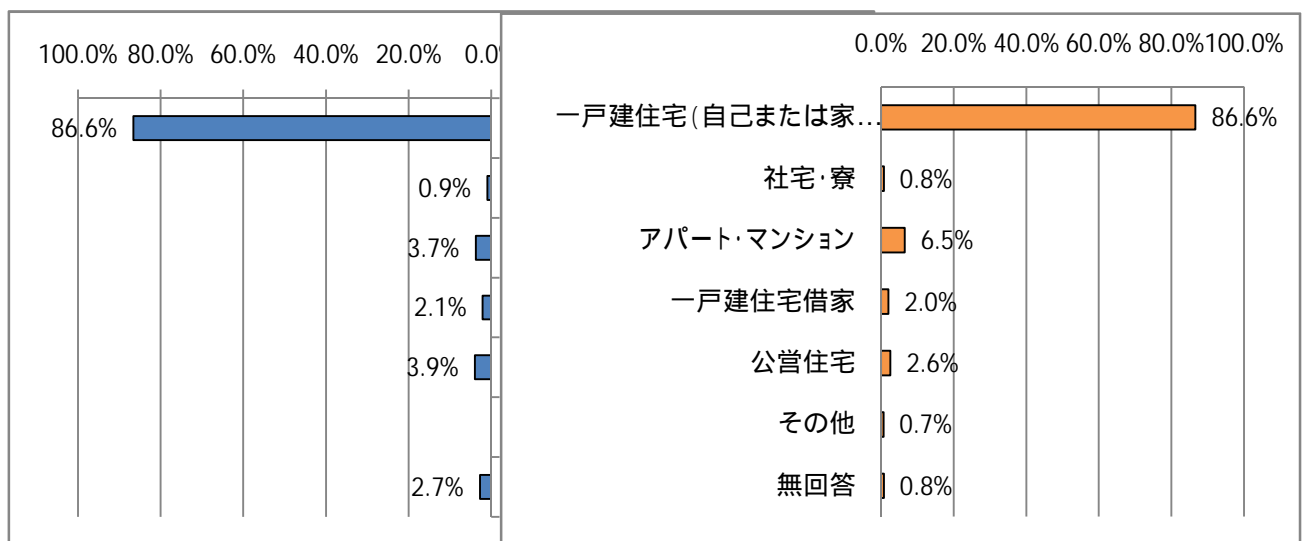


一番は「仕事の関係で」が38%で、次が「その他」が15%となっている。
なお、平成17年度は「仕事の関係で」25%、次が「結婚の縁で」23.3%となっている。

【問 8】 あなたのお住まい(住宅)を選んでください。

(平成17年度アンケート)

(平成21年度アンケート)



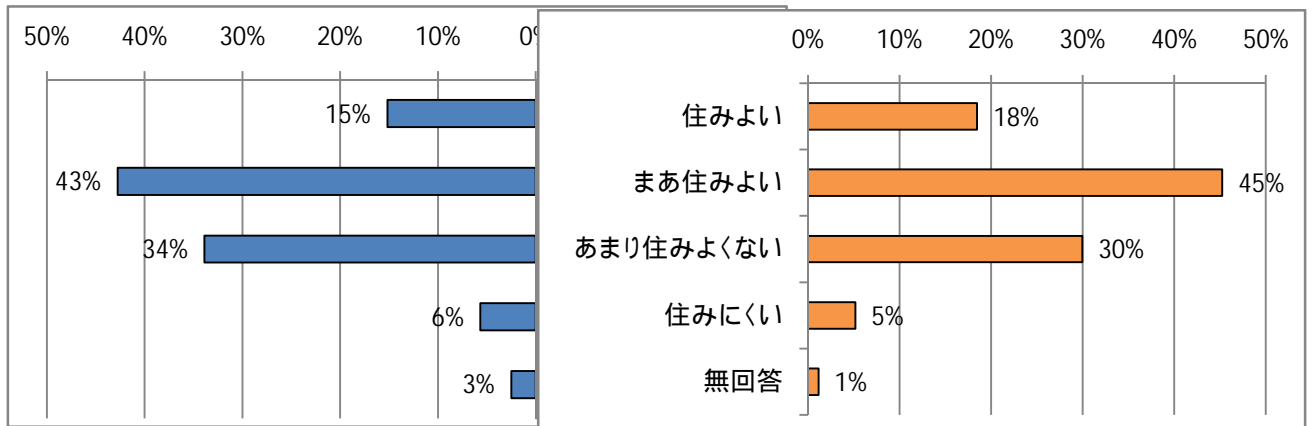
一番は「一戸建て住宅」は86.6%で、次が「アパート・マンション」で6.5%となっている。
なお、平成17年度は「一戸建て住宅」86.6%、「公営住宅」が3.9%となっている。

【問9】 あなたは、矢板市は住みよいまちだと思いますか。

| | 回答数 | 構成比 |
|-----------|-------|--------|
| 住みよい | 257 | 18.5% |
| まあ住みよい | 630 | 45.3% |
| あまり住みよくない | 417 | 30.0% |
| 住みにくい | 72 | 5.2% |
| 無回答 | 16 | 1.1% |
| 計 | 1,392 | 100.0% |

(平成17年度アンケート)

(平成21年度アンケート)

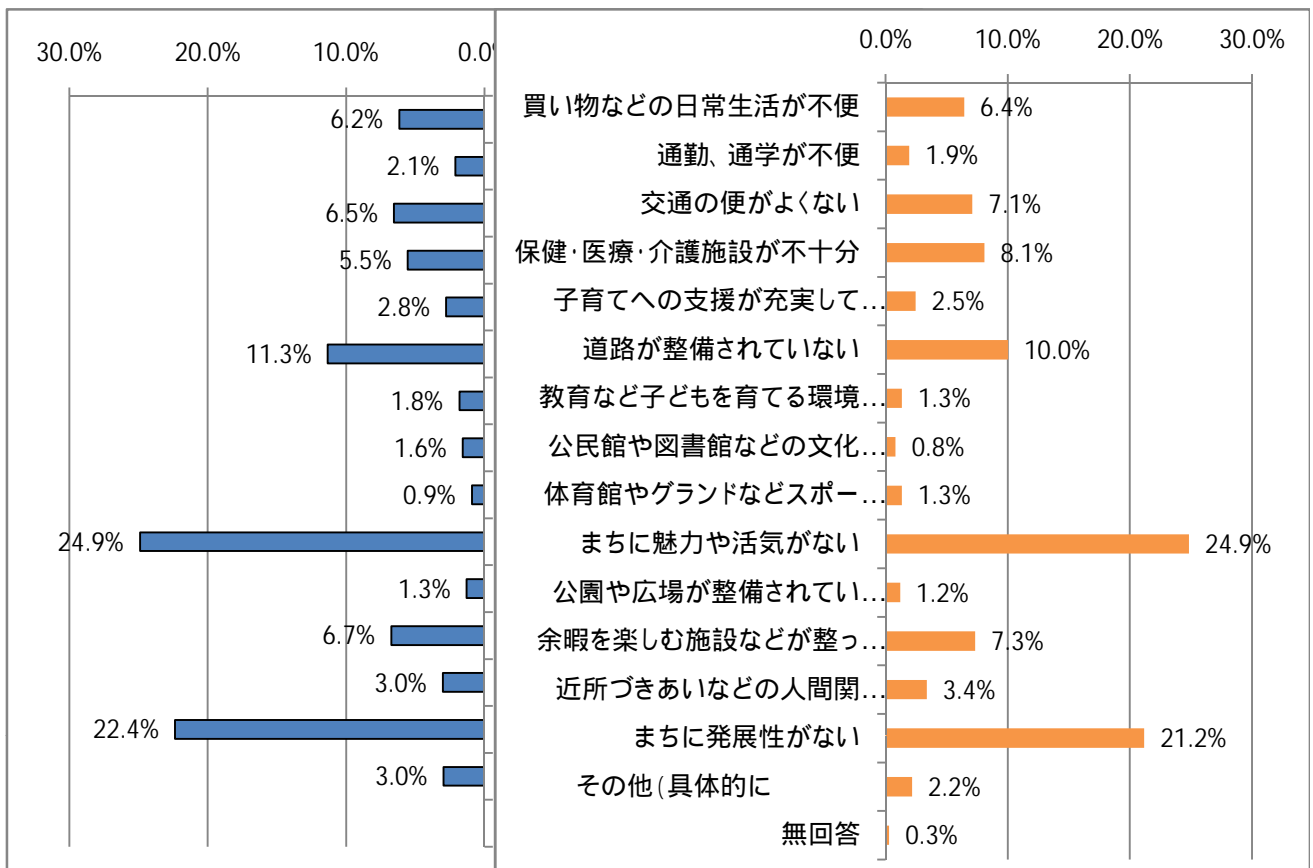


一番は「まあ住みよい」が45%で、「住みよい」と併せると63%が住みよいとしている。また、「あまり住みよくない」は30%となっている。
 なお、平成17年度は「まあ住みよい」と「住みよい」を併せると58%であった。

【問10】 前の問9で3「あまり住みよくない」または4「住みにくい」にお答えの方におたずねします。住みよくない主な理由を選んでください。(は3つまで)

(平成17年度アンケート)

(平成21年度アンケート)

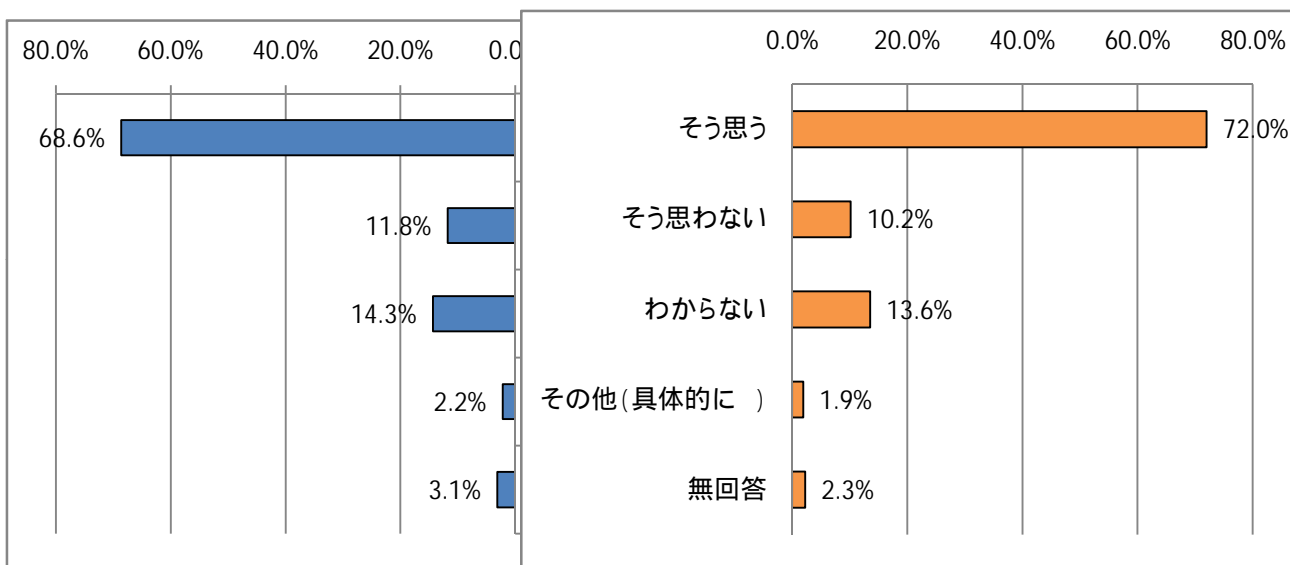


一番は「まちに魅力や活気がない」で24.9%、次が「まちに発展性がない」で21.2%となっている。
 なお、平成17年度は「まちに魅力や活気がない」で24.9%、次が「まちに発展性がない」で22.4%となっている。また、17年度と比べ「保健・医療・介護施設が不十分」「余暇を楽しむ施設などが整っていない」が若干増となっている。

【問11】 健全な財政運営を維持するため、また、利用する人とししない人の公平性を保つため、施設使用料などは、利用する人（サービスを受ける人）がある程度の費用を負担することが必要だという考え方について、あなたは、どう思いますか。

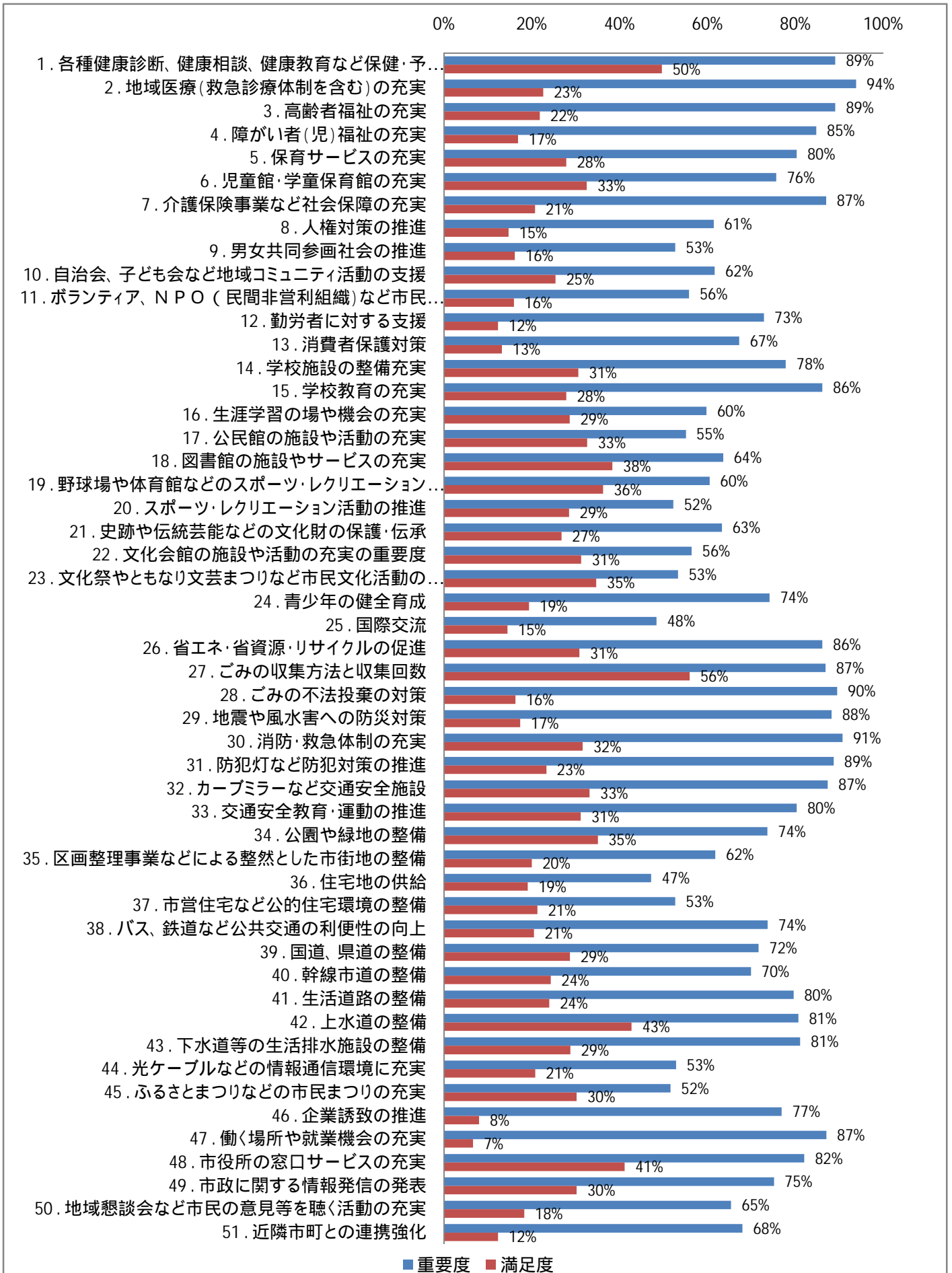
(平成17年度アンケート)

(平成21年度アンケート)



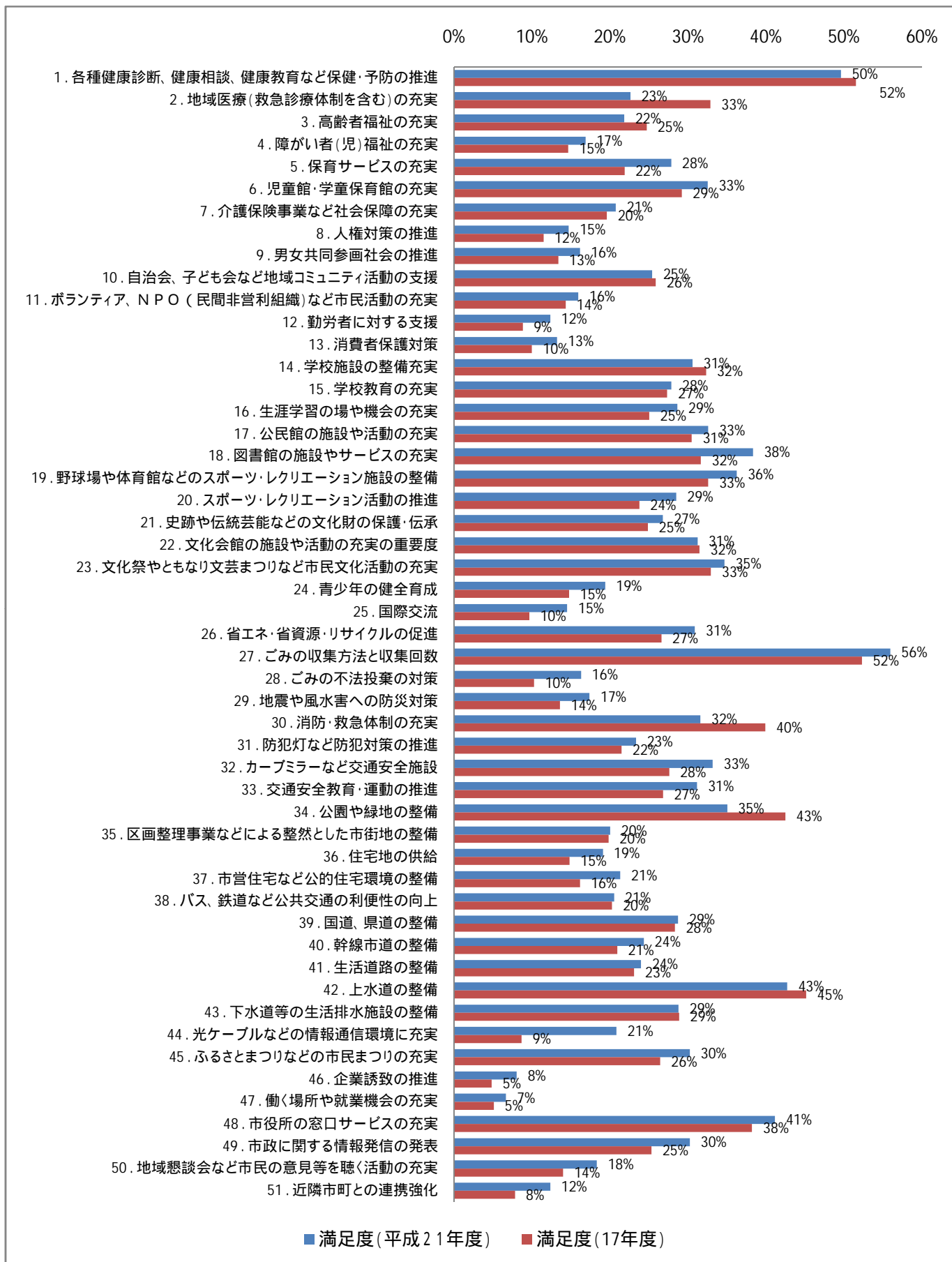
一番は「そう思う」で72%、次が「わからない」で13.6%となっている。
 なお、平成17年度は「そう思う」は68.6%、次が「わからない」で14.3%となっている。

問 1 2 各施策の重要度満足度の集計表



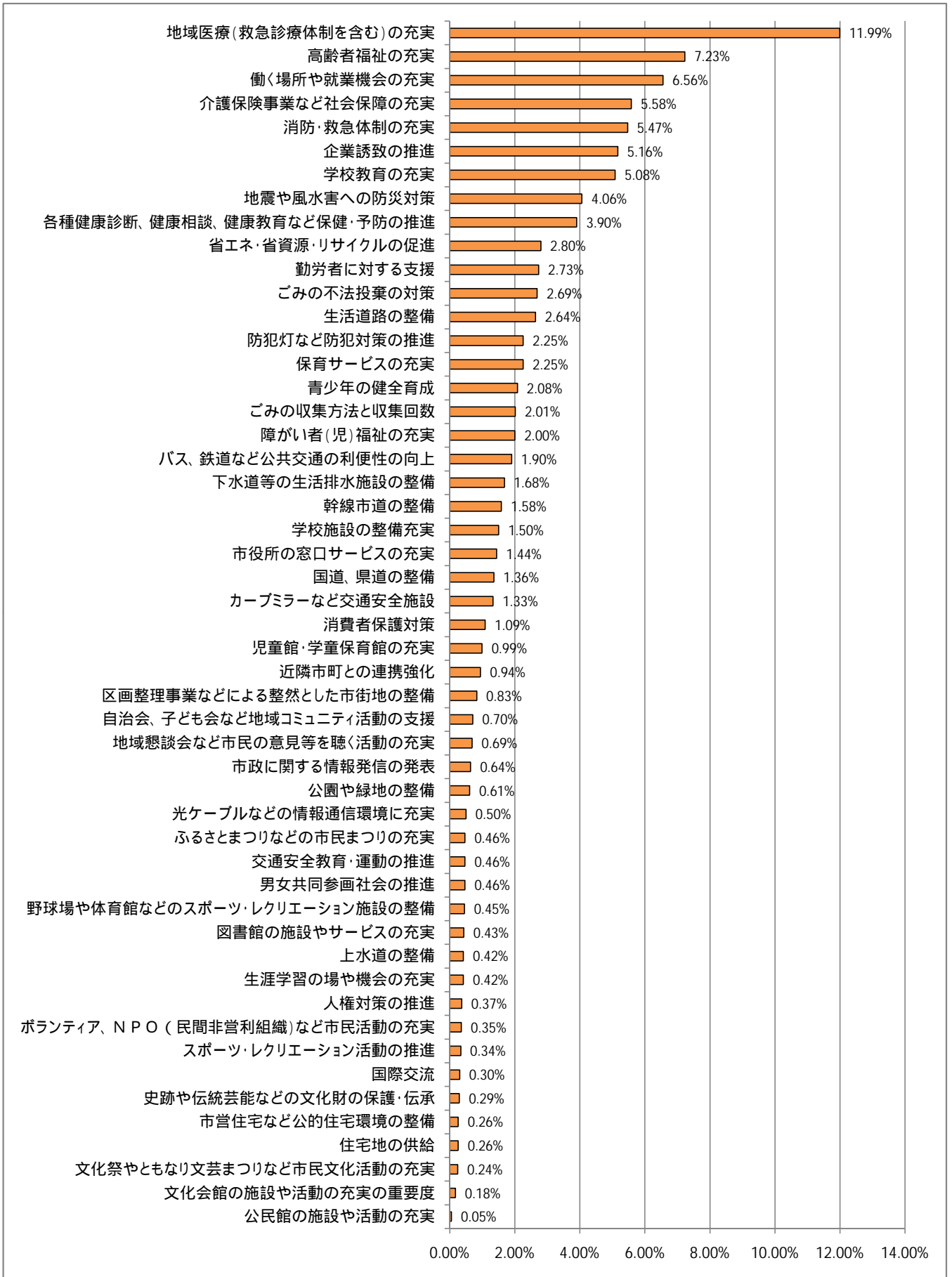
重要度については、1番は「地域医療(救急診療体制)の充実」で94%、2番が「消防・救急体制の充実」91%、3番が「ごみの不法投棄の対策」90%、4番「各種健康診断、健康相談など」89%、5番「高齢者福祉の充実」89%となっている。
 満足度については1番は「ごみの収集方法と収集回数」で56%、2番が「各種健康診断、健康相談など」50%
 3番が「上水道の整備」43%、4番が「市役所窓口サービスの充実」41%、5番が「図書館の施設やサービスの充実」38%となっている。
 重要度は「重要」と「ある程度重要」を足した数字、満足度は「満足」と「ある程度満足」を足した数字である。

問 1 2 各施策の満足度比較（平成 1 7 年度と平成 2 1 年度）



満足度について51項目のうち9項目(1各種健康診断、2地域医療、3高齢者福祉、10自治会、子ども会など、14学校施設の整備、22文化会館の施設、30消防・救急体制、34公園や緑地の整備、42上水道の整備)が平成17年度よりポイントが低くなっている。それ以外の42項目については、同じか、高くなっている。

【問 1 3】 問 1 2 の項目の中で特に重要であると思うものを、5つ選び、その番号を下の欄に記入して下さい。

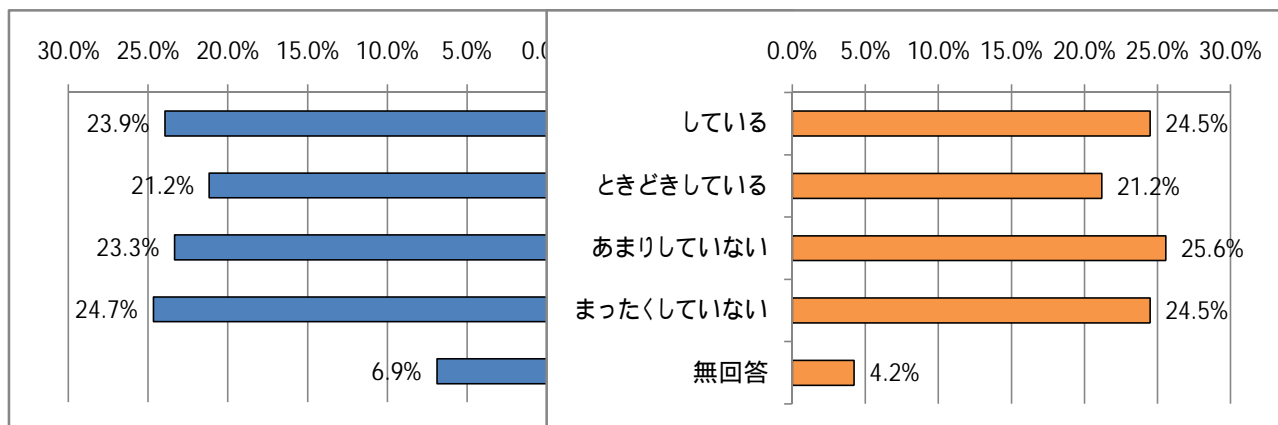


1番は「地域医療(救急診療体制を含む)の充実」、2番は「高齢者福祉の充実」、3番は「働く場所や就業機会の充実」と44番が「介護保険事業など社会保障の充実」5番が「消防・救急体制の充実」となっている。

【問14】 あなたは、日ごろ、地域の人たちと一緒に行事に参加したり、活動を行ったりしていますか。行政区の活動、子ども会育成会の活動など、どんなことでも結構です。

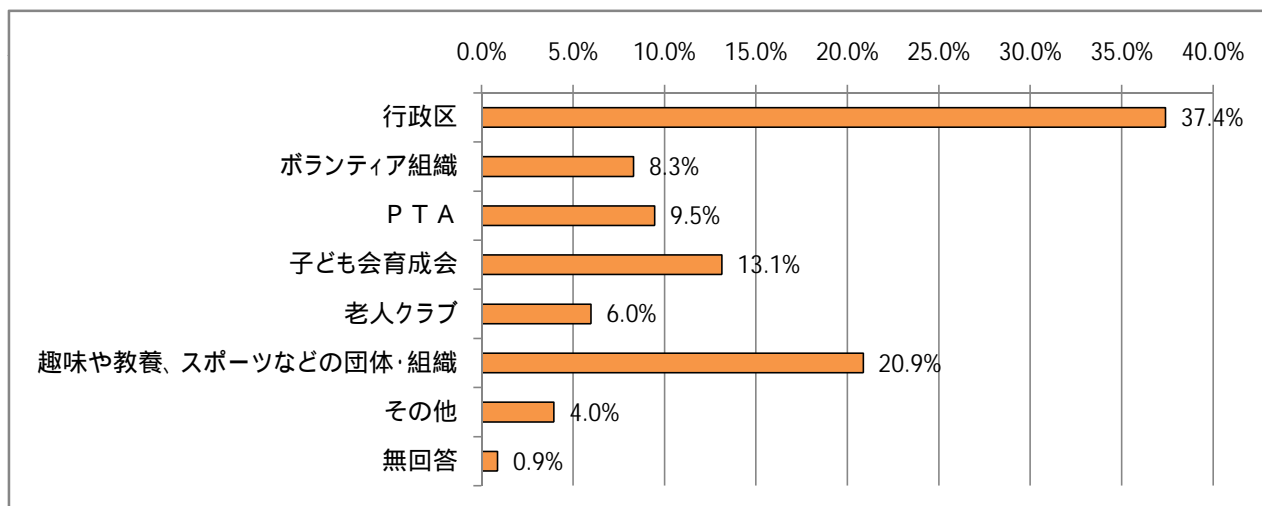
(平成17年度アンケート)

(平成21年度アンケート)



「している」と「ときどきしている」を合わせる45.7%、次が「あまりしていない」で25.6%となっている。なお、平成17年度のアンケートでは、「している」と「ときどきしている」を合わせると45.1%で若干今回の方が上回っている。

【問15】 前の問14で1「している」または2「ときどきしている」にお答えの方におたずねします。どのような組織で活動していますか。(はいいくつでも)



その他(具体的に)の内容

- ・農地水環境 他1件
- ・交通安全協会など 他2件
- ・シルバー大のOBの仲間と
- ・公民館活動(女性部)
- ・趣味の旅行会
- ・図書館の利用
- ・農協野球、市民体育祭など
- ・地域の掃除活動
- ・山間地環境整備事業
- ・団地の清掃
- ・営農活動
- ・自治会の役員
- ・母子寡婦福祉連合会
- ・宗教の団体
- ・お囃子
- ・班で花火とか、酒飲みなどのバーベキュー
- ・地域のゴルフ愛好会など。
- ・土地改良
- ・農政区
- ・OB会のゴルフ
- ・記載なし 18件

一番は「行政区」で37.4%、次が「趣味や教養、スポーツなどの団体・組織」で20.9%となっている。

【問16】 これからの地域社会において、あなたはどのような役割を担っていきたいと思いますか。該当するものにつけてください。（はいくつでも）

